

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 13日

事業所名 こども相談室てんとうむし大口南

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	3		基準上適切ではあるが、区切りがあり、狭く感じることがある。広いスペースを使いたい場合は、地区の学供や、町の体育室を使うようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	11			適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	6	6		2階のため、階段上り下りが大変な子には職員が付きそうようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	1		パート職員が多いため、業務時間の前後に話をするようにしているが、充分とはいえない。共有事項を月ごとにまとめ、毎月共有するようにしていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	10	1		保護者評価の内容について検討会議を開催し、改善事項について話し合った。今後改善していきたい。

放課後等デイサービス

	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	8	2		ホームページにて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	3	第三者評価は実施していない。現在は、事業所の自己評価を通して出てくる改善事項の実施に努めている。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1 1	1		定期的に事業所内研修を実施している。 任意や自主的なものは、日々の業務の中でなかなか確保することが難しいため、体系だった研修システムを検討していく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1 0			決められたアセスメント様式に基づいてアセスメントをおこない、担当スタッフと共に、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		1	標準化されたアセスメント様式を使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1 0	2		スタッフの得意分野を生かしながら、話し合いながら、活動内容を決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1 2			年間活動計画の内容を、微細運動・粗大運動・学習・生活自立技術・親子関係と分けて考え、子どもの状況に合わせ、バランスよく工夫して取り入れるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか	1 1		1	平日の放課後活動は学習中心、休日は微細運動・粗大運動・生活自立技術を取り入れ、工夫しながら課題を決めている。



放課後等デイサービス

②②	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	5	1	現在、対象の児童がいない。
②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	2	同法人内で児童発達支援から利用していた児童については、情報共有できているが、それ以外の園や事業所とは共有できておらず、保護者から話を聞くようにしている。
②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	3	相談支援事業所と情報は共有しているため、移行の際には情報が提供されていると思われるが、直接の情報の提供はおこなっていない。
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		2	町の事業所連絡会が主催する研修に出来るだけ参加している。
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	4	普通学級在籍の児童や支援学級在籍でも交流級での交流をしている児童が多いため、意識して機会を作っていない。地域のまつりへの出店や、客としての参加はしている。
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	3	2	町内の事業所連絡会議に参加している。
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	1	1	保護者に送迎してもらっているため、送迎時に情報共有するようにしている。定期的にセミナーや療育内容の説明を行い、共通理解を持てるように努力している。
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	1	1	年2回、親子学習週間を作り、親子で家庭学習に取り組み、家庭での子どもとの関わり方の支援をしている。日頃から、頑張り表を用いて、家庭で

放課後等デイサービス

						の生活の流れや、生活自立技術が身についていくよう支援している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	2		契約時に重要事項説明書を用いて説明している。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	2		送迎時などに保護者と情報交換をし、助言・相談に応じている。また、必要であれば、別の日に時間を作り、相談に応じている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9		3	父母の会や、保護者会は作っていないが、グループ活動での保護者支援として、子どもの様子について話し合う時間を作ったり、親子でマラソン大会に参加するなどしている。活動を通して、保護者同士の関係ができてきている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	2		マニュアルや記録様式を使い対応している。マニュアルは閲覧できるように配置しているが、あまり周知されていないため、今後もっと周知していく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2		年2回、てんとうむし通信を発行し、行事予定や活動の様子を伝えている。 事業所の入り口付近の掲示スペースを利用し、活動内容の写真の掲示や、連絡事項を掲示するようにしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	1	2		個人情報保護方針に従い、実施している。
③⑯	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	2		子どもや保護者の必要に応じて、視覚にわかる提示や、個別の声掛けなど適切な配慮をしている。	

放課後等デイサービス

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	5	3	4	地区の学供を使って行事をおこなったり、町のふれあいまつりへでかけたりしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	2		事故発生対応マニュアル・健康・衛生管理マニュアルを策定し、年度ごとに見直している。防犯マニュアルはないため、策定する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12			年2回避難訓練月間をつくり、行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	4		虐待防止マニュアルを作成し、周知しているが、職員研修は実施できていないため、実施を検討する。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	4		身体拘束はおこなわないことにしているが、やむを得ない場合の要件や説明や記録が必要なことは共有している。現在、適正化のための指針を作成している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	5	1	アレルギーについては、フェイスシートで把握をしているが、対応が必要な場面は今のところない。必要な場合は、医師の指示書に基づき対応するようにしたい。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3	3	ヒヤリハットがあった場合には、スタッフ間で共有しているが、事例集は作っていない。今後検討していく。

\* 未回答②⑤⑦⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚各1、⑥⑨⑩⑫各